**アンケートピックアップ**

**７月24日　Trunk株式会社 代表取締役　CEO　西元　涼　氏**

**問１ 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

就活中・前の学生と企業を結びつける仕事をなさっているということで、今学生の自分が悩んでいることに対してズバリ話してくださってとても参考になりました。自分は理系で専門は金属とかなり狭い範囲なのですが、職種も専門分野に限定されることなく、特にプログラミングなど試してみたいと思うようになりました。また自分は四国出身なのですが、四国に特別な技術をもった企業などないと思っていましたが、自分が全然知らないことに気づかされました。もっと自分でも地元の企業について調べたいと思います。（理工学部　機械・材料系学科　３年）

「軸」の話の中で「今やりたいことがわかっていればよい」と西元さんがおっしゃってくださり、私は少し楽になれました。私は今熱中できることがありますが、将来何をやりたいという漠然としたイメージはあるものの、はっきりと具体的なイメージを持てないでいたのでとても焦りを感じていました。今日のお話を聴いて、今やりたいことをとことん追求していこうと思えました。今やりたいことから、将来やりたいことへつながればよいと思います。将来やりたいことが見つかればTrunkの職業訓練を利用して、それが本当にやりたいことかどうか確かめてみたいです。（経済学部　1年）

学生から起業しているのではなく、大企業に所属する中で起業を選んだということで違った目線のお話を聞けたと思う。お金に余裕があり、色々挑戦させてもらえるから大企業の方がいいという考え方は今まで知らなかったので自分の中での思い込みが変わって良かった。自分に合わない仕事だったから退職するというのは問題になっていることだと思うので、学生側からでも企業側からでも良いシステムだと思う。西元さん自身が育った環境と一度入社して気づいた問題点とをうまく組み合わせた事業をしていて、理想像を実現していていいと思った。(理工学部　化学生命系学科　3年)

「育った環境に関係なく好きをシゴトにできる国にする」という言葉が印象に残っています。すごく素敵な考えで共感します。今の日本では、ただ好きだからこの仕事をやるという考えは中々通用しないと思いますが、好きなことを仕事にできるのがベストな仕事選びだし、好きだからこそ続けられるのだと思います。私も日本を好きをシゴトにできる国にするために、何かしたいと思います。（経営学部　1年）

今までの講師の方よりやりたいことへのアプローチが具体的でわかりやすかったです。特に企業へのアポイントメントは学生が取りやすいというのは目から鱗でした。企業なんて学生を相手にする暇なんてないと思っていました。理想から現実まで繋げるのがロジックであるというのはとても共感できました。大企業の良さを説いていただけたのもとても良かったです。大企業でも自分のやりたいことができるというのも驚きでした。大事なのは自分のことをいかにわかっている日なんですね。大企業の方がお金があるので、新事業に向いているというのも言われると確かにいいなと思うところでした。(経済学部 1年)

学生は金銭的余裕が無いので、無料で自分のスキルを上げられるのは非常に魅力的だと思った。企業からお金を貰うのは驚いたが、学生のスキルアップと同時に、企業と学生を結びつけ、企業にリターンしており、うまく循環されていて優れたシステムであると感じた。私も「特に今やりたいことがなく、どうしたら見つかるのか」という不安を感じていたが、その不安はお門違いだった。やったことがないから見つからないのであり、やりたいことが見つかってもスキルがなければ何もできない。逆に言えば、スキルが1つでもあれば、やりたいことが見つかったらそのスキルを活用できる。だから、やりたいことを探すのではなく、できることを増やすべきだと分かった。(経営学部　1年)

「沢山失敗しよう」という言葉が印象に残りました。1,2年のうちはどうしたら失敗するのかを考え、改善していたと聞き驚きました。私はバイトをしているときでもなるべく失敗しないように、全てを完璧にこなせるようにと考え、できない自分に落ち込んでいました。だから、この言葉は「失敗しても同じ失敗を繰り返さなければ良いんだ」と思えるものになりました。また、「スキルを身につける」と言うことは印象に残り、今やりたいことはありますが、スキルは全く身につけられていないと感じています。大学三年生には就活なども始まってしまうのでどうしたら身に付けることができるのか、考えようと思うきっかけになりました、本日はありがとうございました。（経営学部　１年）

「理想が無ければギャップも生まれない」、全く同じことを僕も考えています。今現在、僕自身、理想はあるものの、そのための手段が分からず、進みあぐねているところなので、Trunkの取り組みはとても興味深く感じました。「好きを仕事に」素晴らしいと思います。見習いたいです。（経営学部　1年）

講義の主な内容と全く関係がありませんが、空調のせいで揺れてしまうプロジェクターの投影に対して、それをよろしくないと考えるのではなくおしゃれだ、とおっしゃったことがとても興味深いなと思いました。何に関しても前向きに捉えて考えているからこそ起業をされても大学を卒業してすぐに大企業に勤めても、成功されているのだと思います。スキルを持っていることで、ある程度のリスクヘッジになるというのは本当に頷けました。自分のできることを増やしていきたいです。（経営学部　１年）

講演ありがとうございました。私は時間を大切にしよう、たくさん失敗しよう、理想から考えようなどの言葉一つ一つが心に残りました。シンプルですが、とても大切なのだろうと感じました。何か新しいものを作ろうとする際には、理想を考えることが大切だと思いました。また、学生面談でよく聞かれることの中で、「特にやりたいことが見つからない」という問いに対する、「みんなそうだよ」という言葉もとても心に残りました。私も今興味あることはあるが、これという具体的な職業でやりたいことが見つからない状態なので、とても勇気づけられました。最初取り掛かりことは何でもよい、直感でよいという言葉も心に残りました。本日はありがとうございました。(経営学部1年)

ミスマッチ離職という社会問題に取り組みながら利益を上げるビジネスモデルが印象的でした。一般的に、両者は分離されがちであると思いますが、それを両立させた取り組みや方法は良い勉強になったと思います。時間を大切にしよう。失敗をたくさんしよう理想から考えよう、単純ながら自分に必要な言葉だったと思います。あらゆる物事に真剣に向き合うために、いずれも必要となる考え・態度ではないかと思いました。何かを成し遂げるために必要な重要な姿勢を学ぶことができました。(経営学部 1年)

**問２ 今後のアクションにつなげていきたいこと**

失敗は意識しないとできないということにも気がついたので、自分から積極的に動きたいと思います。挑戦するだけで失敗してもスキルと経験と自信が残るので、やれるだけやろうと思います。自分が働くイメージがあまりわからないので、自分のやりたいことをその時その時よく考えて即アウトプットしていけるようにしていきたいです。(経済学部 1年)

スキルアップを意識して日々の課題に取り組む。自分の専門以外の技術も身に着けられるようにプログラミングをかじってみたい。また自分の専門の技術がどのように使われているか、どのような企業が視野に入れられるかを今までよりも広く確認したい。（理工学部　機械・材料系学科　３年）

就職活動を終えて、もう二度とやりたくないけれど今の自分ならもっと志望度の高い会社に行けるのではないかと思っています。そんな思いを自分の大切な後輩たちがしないよう、今日のようなお話を広めていきたいと思います。(教育人間科学部　学校教育学科　4年)

色々な人の話を今まで聴いてきたが、どの人も「今やろう」「今失敗しよう」という人であったように思いました。今日の人は「軸ってなくない！？」という人でした。最初の人と（おそらく）真逆の意見だと思いました。成功する、しないに正解、不正解はないというのであれば、ガムシャラにがんばってもがいてみようと思いました。（経営学部　1年）

**問3****最も刺激を受けた講演者はどなたでしたか？その理由は何ですか？**

株式会社ファクトリエ代表取締役社長の山田敏夫氏の講演が最も印象に残りました。自身が追求している目標のため、自ら0からその目標に近づけていくその具体的な過程が刺激になったのではないかと思います。そして、その目標や過程は自社の利益だけでなく、同業者や消費者の利益につながることもまた印象的でした、私自身もそのようなビジネスを成し遂げたいと思います。(経営学部 1年)

ファクトリエの山田さんは、はじめての講義だったが、受けたインパクトが強く、今まででも心に残っている。初めお金なくても、地道に耐えて耐えて、顧客が増えて・・・という過程が驚いたし、それをした山田さんを尊敬しています。現代では「いかに安くするか」という価格競争のイメージがあったので、いかに価値を高めるかをテーマにしているファクトリエを純粋に好きだと思った。また、工場側の利益を大きくし、情報公開することも素敵だと思ったし、ネットを有効利用し在庫管理の無駄を最小限にしようとしているところも素晴らしいと思ったから。また、プレゼンテーションが上手でとてもわかりやすかった。（理工学部科学生命系学科1年）

最も刺激を与えてくれた方はファクトリエの山田さんです。やはり初回ということもあり、一つ一つの言葉が心に残りました。また最も心に残った方は、馬路村の前村長の上治さんです。大学生の間に、本当に1度は馬路村を訪れてみたいと思いました。(経営学部1年)

今日の西元さんです。理由は、今までの方々がどちらかというとベンチャー志向だったのに対し、西元さんは大企業に対しても非常に肯定的であり、その上での起業までの経緯を説明していたからです。(経済学部経済システム学科3年)

Trunkに関心を持ちました。面白そうな制度を無料で利用でき、自分の能力を高めることができるからです。また、経営者・起業家の方が共通して言っていたのは失敗をたくさんすることだったので、失敗しても自分のやりたいことを貫きたいと思いました。(経営学部　1年)

上田さんの物事を進める問に一つづつ片付けていくのではなく一気にいろいろな物事を進めていくことで、うまくいくのだという考え方が心に残りました。この考え方は、私には今まで考えられなかったからです。失敗を恐れず挑戦をすることが成功につながっていくのだなと思います。（経営学部　１年）

上田さんの「起業って怖いです」という言葉。覚悟をもってビジネスをしていることがとてもよく伝わった。（経営学部　１年）

リンク・アイ　渡辺さん。「正解の道を選ぶのではなく、選んだ道を正解にする努力の方が大切である」というようなことをおっしゃっていて、自分に考え方が大きく変わったから。(経営学部　1年)

株式会社リンクアイの渡辺隼太氏が「企業に頼るのではなく自分に頼る時代」とおっしゃられていて、自分に問うて改めて見直さなければならないなと痛感したし、就職は企業に貢献するものだと思っていたので概念が崩されたため、とても印象に残りました。（経営学部、経営学科、1年）

和田幸子さん。母親でありながら、その立場を逆に活かして起業したからです。（経営学部　1年）

ピクスタの古俣さん。自分にとっての優先事項を決め行動する普段からの行動にも影響のある言葉で心がけていきたいと感じた。（経営学部　経営学科　1年）

CURIO　SCHOOLの西山さんのお話をお聞きする中で、“自然”と浮かぶはずの質問が生まれないように育ってしまったと気付かされた。そこからふとした疑問が思いつきをメモするようになったため、最も影響を受けた講演であると思う。（経営学部　1年）

コードフォージャパンの代用理事の関治之氏がおっしゃった、“大変なことをチャンスだと思う”という考え方はそう捉える人の方がたくさんの機会（チャンス）を得られるので、大切な考え方だと思った。

登壇していただきたい経営者の方は、TYPエンターテイメントのT.Y.Park氏のお話を聞いてみたい。理由としては、革新的な芸能事務所経営を行い、親日家としてもしられているから。（経営１年）

ファクトリエ　6人

・新しい発想や地域の人々のために頑張っていることに感動した。

・考え方が一番しっかりしていて、ビジネスの考え方もすごくわかりやすく新しいと感じたから。

・「80歳になればすべていい思い出。たくさん失敗しよう」という言葉は、積極的に動こうと思えたので刺激になりました。

タスカジ　 1人　ピクスタ 　１人　ABEJA　　１人　ガイアックス　　１人　Trunk １人　　　　　　以上が、私が見たアンケートの結果です。

**授業スタッフの感想**

今回の講義は最後の講義にふさわしい内容だったと思いました。自分は以前からTrunkさんの職業訓練のサービスを知っており、度々サイトもチェックしていましたがバイトや授業の関係で今まで一度も参加できていません。ですから９月に何か一つ気になった職種を体験してみたいと思います。

最後に、私はこの授業を通して本当に多くのことを学び、刺激を受けました。それは講師の方々からだけでなく授業アシスタントのみんなや井上先生からもです。1年の春学期にこのような授業を受けることができ良かったです。とにかく夏休みは行動しまくります！また、来季の「ベンチャーから学ぶマネジメント」も是非受講したいと思います。

西元さんに初めて会った時にも「同じ失敗を二回しなきゃいいだけじゃん。というか同じ失敗ってしなくない？」ということを仰っていて、とても印象的だった。当たり前と言わんばかりのその言い方に強い衝撃を受け、確かにそうだと納得した。しかし実際人間とは感情に左右される限定合理的な生き物であるため、そうとも行かないのが事実。（朝起きられないなど。）その普通の人との考え方の違いを目の当たりにして、自分も今は同じ失敗は二度しないようにとても気をつけている。改めて、尊敬できるOBだと感じました。そして今までの講演を通して、経営者や起業家の方々のビジネスマインドの共通点を見ることが出来たので、とても価値があった。彼らはどんな失敗も恐れないで、いろんなことに挑戦していき、常に楽しく生きていることや、いくつかの特長をかけ合わせて独自の武器を確立していることなどだ。また、講演者の方々の話を通して現代の社会事情を知ることも出来たので、本当に受講して良かったです。私にとって一番印象的だった講演者の方は、正直選べないです。というのも、はっきり言ってどの方々もそれぞれ吸収できる要素があり、みなさん私への影響力があってしっかり覚えているからです。でも強いて言うならば、まだ自分が今よりもっともっと未熟だった初回の授業は私の視野を大きく切り開く発端となったので、ファクトリエの山田さんの講演は大きかったです。このような機会を設けていただきありがとうございました。秋学期も受講しようと考えているので、よろしくお願いいたします。

スキルが役立つというのは本当だと思う。何か成し遂げるときにお金だけでなく、スキルも必要だからだ。スキルというのは「強み」と近い言葉かもしれない。やはり、スキルや強みが無ければ、競争で生き残るのは厳しいだろう。今日の講義最後の井上先生からの言葉や、登壇者の方々が今もなお読書などを通して勉強されているという事実から、私はまだまだ未熟なのだろうと思った。先生や登壇者の方々は、同じ話を聞いても、私が1しか理解できないところを10理解してしまうのだろう。だからこそ、今まで登壇者の方々が強調されてきた「行動に移す」大切さを噛みしめながら、勉強することも重視していきたい。そうすることで「行動に移す」ときに得られる学びがより大きくなるはずだ。